



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月1日

上場会社名 太平洋工業株式会社 上場取引所 東・名
コード番号 7250 URL <https://www.pacific-ind.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小川 哲史
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 渡辺 智 (TEL) 0584-93-0117
四半期報告書提出予定日 2024年2月9日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	155,983	8.8	11,240	97.5	14,345	68.4	10,905	75.9
2023年3月期第3四半期	143,423	19.5	5,690	△26.9	8,517	△15.1	6,201	△16.2

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 22,514百万円(117.3%) 2023年3月期第3四半期 10,358百万円(△20.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	185.90	185.53
2023年3月期第3四半期	103.42	103.22

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	280,857	157,331	55.6
2023年3月期	258,058	138,721	53.4

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 156,241百万円 2023年3月期 137,717百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	20.00	—	22.00	42.00
2024年3月期	—	22.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	22.00	44.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	200,000	4.6	13,000	39.8	16,000	21.1	11,500	23.6	196.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期3Q	61,312,896株	2023年3月期	61,312,896株
2024年3月期3Q	2,755,384株	2023年3月期	1,670,909株
2024年3月期3Q	58,662,126株	2023年3月期3Q	59,959,923株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績予測等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後さまざまな要因により変動する可能性があります。

○添付資料の目次

1. 【当四半期決算に関する定性的情報】	2
(1) 【経営成績に関する説明】	2
(2) 【財政状態に関する説明】	3
(3) 【連結業績予想などの将来予測情報に関する説明】	3
2. 【四半期連結財務諸表及び主な注記】	4
(1) 【四半期連結貸借対照表】	4
(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】	6
【四半期連結損益計算書】	6
【四半期連結包括利益計算書】	7
(3) 【四半期連結財務諸表に関する注記事項】	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 【当四半期決算に関する定性的情報】

(1) 【経営成績に関する説明】

当第3四半期連結累計期間（2023年4月1日～2023年12月31日。中国とフランスの子会社は2023年1月1日～2023年9月30日の業績を連結）における世界経済は、ウクライナ情勢や欧米を中心としたインフレ抑制のための利上げの影響等により低調に推移しているものの、米国では個人消費の回復や良好な雇用情勢を背景に堅調に推移しました。日本においては、日米間の金利差拡大による円安の進展や、エネルギー価格の高騰等をはじめとする物価上昇などにより先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの主要事業分野の自動車関連業界におきましては、昨年の半導体などの部品不足は解消し、主要顧客の自動車生産は順調に推移しております。

このような中、当社グループでは、人員・部材の確保等を行い、生産量変動に合わせた生産活動を行ってまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、販売物量の増加や円安による為替換算の影響もあり、1,559億83百万円（前年同期比8.8%増）となりました。利益面では、販売物量の増加や継続的な原価改善活動により、営業利益は112億40百万円（前年同期比97.5%増）となり、経常利益は、営業利益の増加に加え、円安による為替差益が大きく、143億45百万円（前年同期比68.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、109億5百万円（前年同期比75.9%増）となりました。なお、売上高および各利益につきましては、第3四半期連結累計期間で過去最高となっております。

【セグメント別の状況】

（プレス・樹脂製品事業）

販売物量の増加や円安による為替換算の影響が大きく、当事業全体の売上高は1,130億86百万円（前年同期比10.1%増）となりました。利益面では、販売物量の増加や原価改善の効果等により、営業利益は78億62百万円（前年同期比286.5%増）となりました。

（バルブ製品事業）

円安による為替換算の影響により、当事業全体の売上高は427億38百万円（前年同期比5.3%増）となりました。利益面では、材料価格の高騰等により、営業利益は33億51百万円（前年同期比7.3%減）となりました。

（その他）

その他は主に情報関連事業等のサービス事業から成っており、売上高は1億59百万円（前年同期比5.7%増）、営業損失は7百万円（前年同期は営業損失1百万円）となりました。

なお、セグメント別の金額は、セグメント間取引の消去後の数値であります。

(2) 【財政状態に関する説明】

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は2,808億57百万円となり、前連結会計年度末と比較して227億99百万円の増加となりました。

資産の部では、流動資産は888億66百万円となり、前連結会計年度末と比較して18億24百万円の減少となりました。これは主に、その他流動資産が13億62百万円増加しましたが、棚卸資産が16億74百万円、現金及び預金が10億27百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定資産は1,919億91百万円となり、前連結会計年度末と比較して246億24百万円の増加となりました。これは主に、有形固定資産が155億30百万円、時価評価等に伴い投資有価証券が94億50百万円それぞれ増加したことによるものであります。

負債の部では、流動負債は570億12百万円となり、前連結会計年度末と比較して43億76百万円の増加となりました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金が14億82百万円減少しましたが、その他流動負債が60億98百万円増加したことによるものであります。

固定負債は665億13百万円となり、前連結会計年度末と比較して1億87百万円の減少となりました。これは主に、その他固定負債が31億42百万円増加しましたが、長期借入金が33億85百万円減少したことによるものであります。

純資産の部は、利益剰余金が82億85百万円、為替換算調整勘定が61億54百万円、その他有価証券評価差額金が54億98百万円増加したこと等により、前連結会計年度末から186億10百万円増加し、1,573億31百万円となりました。

有利子負債は、前連結会計年度末から48億67百万円減少し、563億49百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は55.6%となり、前連結会計年度末と比較して、2.2ポイント増加しました。

(3) 【連結業績予想などの将来予測情報に関する説明】

当社グループを取り巻く環境は、ウクライナ情勢の影響や物価上昇、エネルギーや原材料価格の高騰、利上げに伴う景気の下振れ懸念などにより先行きが不透明な状況が続くものと想定されます。

このような中、第3四半期累計の連結業績実績に加え、顧客の生産情報、各種経済予測等の入手可能な情報に基づき、通期の連結業績予想を修正いたしました。また、為替レート的前提は、第3四半期連結会計期間以降は1US\$=140円と置いております。

これらの仮定には不確実性が含まれているため、今後の状況等によっては、実際の業績が予想から大きく乖離する可能性があります。

2024年3月期 通期の連結業績予想値の修正 (2023年4月1日～2024年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	198,000	12,000	15,000	10,500	179.06
今回修正予想(B)	200,000	13,000	16,000	11,500	196.12
増減額(B-A)	2,000	1,000	1,000	1,000	—
増減率(%)	1.0%	8.3%	6.7%	9.5%	—
(ご参考)前期実績 (2023年3月期)	191,254	9,298	13,209	9,301	155.33

2. 【四半期連結財務諸表及び主な注記】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	32,088	31,060
受取手形及び売掛金	31,227	30,769
商品及び製品	9,522	7,617
仕掛品	7,414	7,386
原材料及び貯蔵品	6,185	6,444
その他	4,424	5,786
貸倒引当金	△173	△198
流動資産合計	90,690	88,866
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	32,658	49,899
機械装置及び運搬具（純額）	46,081	50,909
工具、器具及び備品（純額）	2,297	2,555
土地	10,651	11,458
リース資産（純額）	1,311	1,510
建設仮勘定	18,924	11,122
有形固定資産合計	111,924	127,454
無形固定資産		
のれん	6,219	5,858
その他	5,325	5,435
無形固定資産合計	11,545	11,293
投資その他の資産		
投資有価証券	36,636	46,087
その他	7,262	7,159
貸倒引当金	△1	△3
投資その他の資産合計	43,897	53,243
固定資産合計	167,367	191,991
資産合計	258,058	280,857

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,394	13,685
電子記録債務	6,832	8,047
短期借入金	1,015	1,015
1年内返済予定の長期借入金	6,851	5,369
未払金	5,285	5,359
未払法人税等	2,040	1,864
賞与引当金	1,605	962
その他	14,610	20,708
流動負債合計	52,635	57,012
固定負債		
長期借入金	53,350	49,965
役員退職慰労引当金	173	178
退職給付に係る負債	553	603
その他	12,623	15,765
固定負債合計	66,701	66,513
負債合計	119,337	123,525
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,316	7,316
資本剰余金	7,686	7,690
利益剰余金	94,044	102,330
自己株式	△1,193	△2,465
株主資本合計	107,854	114,871
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,100	21,598
為替換算調整勘定	13,154	19,309
退職給付に係る調整累計額	608	462
その他の包括利益累計額合計	29,862	41,369
新株予約権	97	97
非支配株主持分	905	992
純資産合計	138,721	157,331
負債純資産合計	258,058	280,857

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)
売上高	143,423	155,983
売上原価	127,618	133,438
売上総利益	15,804	22,545
販売費及び一般管理費	10,114	11,304
営業利益	5,690	11,240
営業外収益		
受取利息	55	303
受取配当金	694	812
持分法による投資利益	623	979
為替差益	979	833
その他	724	495
営業外収益合計	3,077	3,423
営業外費用		
支払利息	216	241
その他	34	77
営業外費用合計	251	318
経常利益	8,517	14,345
特別利益		
投資有価証券売却益	—	732
特別利益合計	—	732
特別損失		
固定資産除売却損	110	129
特別損失合計	110	129
税金等調整前四半期純利益	8,406	14,948
法人税等	2,115	3,992
四半期純利益	6,291	10,955
非支配株主に帰属する四半期純利益	90	50
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,201	10,905

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	6,291	10,955
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,677	5,484
為替換算調整勘定	6,542	6,038
退職給付に係る調整額	△87	△145
持分法適用会社に対する持分相当額	289	182
その他の包括利益合計	4,067	11,559
四半期包括利益	10,358	22,514
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,239	22,412
非支配株主に係る四半期包括利益	119	102

(3) 【四半期連結財務諸表に関する注記事項】

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

(耐用年数の変更)

米国子会社が保有する一部の機械装置について、従来、耐用年数を7年として減価償却を行ってきましたが、近年の設備投資の大型化等の状況変化に応じて、機械装置の使用実態を見直した結果、第1四半期連結会計期間より、耐用年数を15年に見直し、将来にわたり変更しております。

この変更により、従来と比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益がそれぞれ12億25百万円増加しております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

項目	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	プレス・ 樹脂 製品事業	バルブ 製品事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	102,703	40,568	143,272	150	143,423	—	143,423
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	17	17	△17	—
計	102,703	40,568	143,272	167	143,440	△17	143,423
セグメント利益又は損失(△)	2,034	3,615	5,649	△1	5,648	42	5,690

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報・サービス事業等であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額42百万円は、セグメント間取引消去の金額であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

項目	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	プレス・ 樹脂 製品事業	バルブ 製品事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	113,086	42,738	155,824	159	155,983	—	155,983
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	0	0	△0	—
計	113,086	42,738	155,824	159	155,983	△0	155,983
セグメント利益又は損失(△)	7,862	3,351	11,214	△7	11,206	33	11,240

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報・サービス事業等であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額33百万円は、セグメント間取引消去の金額であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

(会計上の見積りの変更)に記載の通り、米国子会社が保有する一部の機械装置について、従来、耐用年数を7年として減価償却を行ってきましたが、第1四半期連結会計期間より、耐用年数を15年に変更しております。この変更により、従来と比べて、当第3四半期連結累計期間のセグメント利益が「プレス・樹脂製品事業」において12億25百万円増加しております。